



ホ 2
5594
1



本
號 5594
卷 1

冊 三
號 異 和
函 上

詞のかよひ路序

世ふ何れもや何れも人のもて何れもわたりたる
人の心を樂しまめき事なむおもむある屋
今れや。それの中ふ歌よむもさなむ。物よめ
こゝろよまきりても何れもき。はるさと海こはし
やも。うればとも。思ふ心をのんつら縁よむ出
ぬらむ。それ言葉のよほしうらむを。人のき



○ うらむち序

○ 一

めく。おむのしきと与後しやもふまむよ。初め
らぬちくさうて。樂しきおもむるにこそなり。
かくつゝ古事記日本紀ふえて。神世上古
此哥のむやうむじなれや。今此世とてえ
ちらよこやちるこりああるる。そらもく

藤原奈良の法代を經て。寛平延喜のころを
ひよる。大やけわさういよくちりふのみした

もて阿そひくさとなりて。花お葉も虫のゆる音
糸初け。月雪霞のをさふしふもよあされ。高き
みしりたみやむ奴かこんくさはひと形むちあり
もてゆたて。事ひろくなはまふふ。形ふられ
題をまうけ。おのの身ふあつうらぬ事致も。
そのをさふしふ初き形にこそを。意はまれ
旅ふまら。海川野山名やころふよそく。こほ

も海こそはあまの御引いて。世ふらひもは
さぬ免つらしむるをやははけり。あまの
志解ん高くおのけりおのしやふや。ま
あひつ。あまのえさるのほともよみゆる力
のきさも。あまのえさるのほともよみゆる力
よれ哥とえさるあて。同一あまの友もをさ
ぬ。又さらぬよるあて。こをおもしるや

やとえつ。或を遠たさあひふも宇つあて
て。もてあまのえさるのほともよみゆる力
あまのえさるのほともよみゆる力。あまの
やあて。上古中昔の人の。あまのえさるのほとも
も人をもあまのえさるのほともよみゆる力
言霊あまのえさるのほともよみゆる力。あまの
今もあまのえさるのほともよみゆる力。あまの

はしめたる。此道は与たるものかきりをおこして
まゐる。今の世の人よきこと一首せらるるも。
いさゝかも古法ふまひあやそめも昔は例
ふよむさるむも。いふひなくらちをうたれおと
なるよし。詞は玉緒詞の八衢も字ひまぬひの
ほやふ。いふまてともやいふよきあきらをさせ
まわしくむむ。こふある人けりくちのたふた

学は道さありあり。そこかしこよきをいあらはせ
何れらの書やも。やましくふめつらめなる事おなれ
せ。もやく鈴屋翁の著しおなれぬる。まめやかよ
教へさして。さへて物学ふ人のあめふその功よ
なくこそおなゆれ。それおつきて後鈴屋翁の八衢
め志るんこそまめやあなる教なせ。わのせもあつ
れちのくも形ちあら書ちりといへり。こゝに此あら

をせる。詞の通路も又家の教いちるく。まめくしを
書あり。此道も深く入るも。くはく何きうふはれは
ちあうちてん。かくもえさとけましく形む。

文政十一年戊子秋

本居大平

詞通路上卷

本居春庭著

よめり清國のさ葉れいともあやしく久きくたかなる事
ハツもゆりも又まほけいひまななとおのりりあふりありて
いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
ふかむいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
あふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
あてふれ人も詞のいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ

		四カ	四カ	四カ		
		まうぞく	う	お		おの
四カ	四カ	下カ	四廿	四廿	下ア	
まうぞく	ふせぐ	まうぞく	う	お	う	おの
						おの
下廿	下廿	下廿			下廿	
まうぞく	ふせぐ	まうぞく			う	おの
	下ラ	下ラ		下ラ	下ラ	おの
	ふせぐ	まうぞく		お	う	おの
下ラ	下ラ	下ラ		下ラ	下ラ	おの
まうぞく	ふせぐ	まうぞく		お	う	おの

名目よりいさうあけのついでに
 のついでにき詞一カとあつた加行一版のついでにき詞
 加行中二版のついでにき詞下カとあつた加行下二版のついでにき詞
変カとあつた加行変格のついでにき詞
 條の行くことゝなるは

第一版 第二版を四種のくまき入よりてすくまきなり
 第三版をあふく佐行下二版のくまきなれといふなり
 もかかれくまきとすくまきなり
 第四版を佐行下二版の活
 かきぬくまき版を佐行下二版の活
 かきぬくまきなり

第一版	下ラ	下ラ	下ラ	下ラ
	ミ	キ	キ	キ
第二版	下ワ	四ラ	下ラ	四ラ
	ウ	ミ	キ	キ
第三版				
第四版	下井	下井	下井	下井
	ミ	キ	キ	キ
第五版	下ラ	下ラ	下ラ	下ラ
	ミ	キ	キ	キ
第六版	下ラ	下ラ	下ラ	下ラ
	ミ	キ	キ	キ

〇うまひち上

〇八

中ラ	中ラ	中ラ						下ヤ	下ヤ
申	子	あ						ミ	キ
四井	四井	四井	四ラ	四ラ	四ラ	四ラ	四ラ	一	四カ
申	子	あ	ミ	キ	キ	ウ	あ	ミ	キ
			四ハ	四井	下カ	四井	下カ	下井	下井
			ミ	キ	キ	ウ	あ	ミ	キ
			下井	下井					下井
			あ	キ					キ
								下ラ	下ラ
								ミ	キ
下ラ	下ラ	下ラ		下ラ	下ラ		下ラ	下ラ	下ラ
申	子	あ		キ	キ		あ	ミ	キ

あつうねとなきよにあつねといふとまねるるもなかりは
行ふとていふは加行よとていふ。とて波行よとていふ。そ
四行よとていふ。とてなきよとていふなり。依行と罷行よと
ていふ。とていふも多し。いふの法のそこの才一の言才三は言
才五の言より依行と罷行よとていふていふ事なり。才二は言
よりいふも多し。あつ。を加行の法行なれどか。よ。おと
ろ。い。あ。と。依行よとていふ。な。お。い。麻行の法なれど
あ。い。な。と。依行よとていふ。あ。い。を多行の
い。い。き。な。れ。と。い。ふ。か。と。い。ふ。あ。い。と。罷行よとていふ
そ。あ。い。波行の法なれどい。い。は。い。は。と。罷行よと

つ。な。い。と。い。ふ。も。り。才。二。は。言。よ。り。い。ふ。と。い。ふ。を。加。行。の
い。い。き。な。れ。と。い。ふ。か。と。い。ふ。あ。い。と。依。行。よ。と。い。ふ。あ。い。に。麻。行。の
法。な。れ。と。い。ふ。あ。い。と。依。行。よ。と。い。ふ。才。三。は。言。よ。り。罷。行
よ。り。い。ふ。と。い。ふ。才。五。の。言。よ。り。い。ふ。と。い。ふ。を。加
行。の。法。な。れ。と。い。ふ。あ。い。と。依。行。よ。と。い。ふ。あ。い。を。波。行。の。法
な。れ。と。い。ふ。あ。い。と。依。行。よ。と。い。ふ。い。を。麻。行。の。法。な。れ
と。い。ふ。あ。い。と。罷。行。よ。と。い。ふ。い。を。け。い。と。い。ふ。才。一
の。言。才。三。は。言。才。五。の。言。よ。り。依。行。と。罷。行。よ。と。い。ふ。と。い。ふ。事。な。り。
才。一。の。言。よ。り。い。ふ。と。い。ふ。才。二。は。言。才。五。の。言。よ。り。い。ふ
と。い。ふ。事。な。り。又。才。二。は。言。才。四。の。言。よ。り。依。行。と。罷。行。よ。

まゝをいひかゝるなり

多行四段活句

日下二段活句

そいふ。

そいふ。

たう。

たう。

右よなまを物のおのつゝゝ物をもいふはまゝをなまを物と
いふまゝをいふなり

波行四段活句

日下二段活句

たうふ。

たうふ。

ちうふ。

ちうふ。

つうふ。

つうふ。

とめふ。

とめふ。

なうふ。

なうふ。

右よなまを物のおのつゝゝ物をもいふはまゝを物と
いふまゝをいふなり

波行中二段活句

日下二段活句

のうふ。

のうふ。

右よなまを物のおのつゝゝ物をもいふはまゝを物と
いふまゝをいふなり
まゝをいふはまゝをいふなり
たうふをいふはまゝをいふなり
あゝをいふはまゝをいふなり
ての例なれどもなり

羅行四辰活句

あなうら。

いの。

そま。

ちま。

けう。

日下二辰活句

あなうら。

いの。

そま。

ちま。

けう。

右とならぬ袖を捲すもさしお袖下なるを他より捲せらるゝと
おのつゝも捲せらるゝとさしお袖下なるは下二辰の活を
らもこれささるゝとさしお袖下なるは活をささるゝとさしお袖下なる
是より佐行と羅行の活句をささるゝとさしお袖下なるは活をささるゝと

ささるゝとささるゝとささるゝとささるゝとささるゝと佐行羅行
ささるゝとささるゝとささるゝとささるゝとささるゝと佐行
羅行ささるゝとささるゝとささるゝとささるゝとささるゝと
てささるゝとささるゝとささるゝとささるゝとささるゝと
の身一れさ身一れさ身一れさ身一れさ身一れ佐行羅行ささるゝと
○加行より佐行よりささるゝとささるゝとささるゝと例

加行四辰活

うこく。

あま。

か。

佐行四辰活

うこく。

あま。

か。

かひく。

く。

右とならるるおのつゝつゝ物をもりつゝこゝへ下なるを他を物

加行四股活

おく。

かく。

さく。

く。

あ。

かひく。

く。

加行下二股活

おく。

かく。

さく。

く。

あ。

右とならるるおのつゝつゝ物をもりつゝこゝへ下なるを他を物

加行中二股活

おく。

さく。

く。

右とならるるおのつゝつゝ物をもりつゝこゝへ下なるを他を物

加行下二股活

あ。

加行四股活

おく。

さく。

く。

加行四股活

あ。

多行下二股活

あつぷ。
まじり。

羅行四股活

あつぷ。
まじり。

右とならばおとけすまをいりかへ下なるまおのつりてけり
りよこしとるなり

○奈行より羅行よりつりて自他のまを例

奈行下二股活

うさな。
はくね。

羅行四股活

うさな。
はくね。

右とならばおとけすまをいりかへ下なるまおのつりてけり

こしとるなり

○波行より佐行よりつりて自他のまを例

波行四股活

うさな。
あつぷ。
かま。

佐行四股活

うさな。
あつぷ。
かま。

右とならばおのつりてけり
はくねをいりかへるなり

麻行四股活

佐行下二股活

まむ。

まむ。

のむ。

のむ。

しむ。

しむ。

をむ。

をむ。

右よなるをうつうつ始まるとりし初下なるは他より始まる

麻行中二股活

佐行四股活

あむ。

あむ。

右よなるをうつうつ始まるとりし初下なるは他より始まる

まむ。

麻行下二股活

佐行四股活

まむ。

まむ。

右よなるをうつうつ始まるとりし初下なるは他より始まる

○麻行より羅行よりして自他のまむ例

麻行四股活

羅行四股活

たむ。

たむ。

右よなるをうつうつ始まるとりし初下なるは他より始まる

ツカ〜〜〜

○佐行と羅行をうろつ佐行よりうろつたもろもあ〜〜〜羅行よりうろつ〜〜〜あ〜〜〜佐行と羅行とを自他のろれ〜〜倒

佐行四股活

羅行四股活

か〜。

か〜。

ろ〜。

ろ〜。

の〜。

め〜。

や〜。

や〜。

ろ〜。

ろ〜。

右上から〜〜〜を握き〜〜〜とツカ〜〜〜下から〜〜〜の〜〜〜を

佐行四股活

羅行下二股活

あ〜。

あ〜。

く〜。

く〜。

け〜。

け〜。

ろ〜。

ろ〜。

た〜。

た〜。

右上から〜〜〜を握き〜〜〜とツカ〜〜〜下から〜〜〜の〜〜〜を

心よなまゝにうろくはまをまじりて下なる他よまゝにせら
うとあつてのつらき世にまゝにまじりて下なる

○下二版の法行は羅文を以てして羅行よりうたれり

阿行

う。

う。

加行

なま。

なま。

佐行

あま。

あま。

多行

ま。

ま。

奈行

か。

か。

波行

か。

か。

麻行

ま。

ま。

和行

わ。

わ。

心よなまゝにうろくはまをまじりて下なる他よまゝにせら

ろいとおのつらうはせらうとさういふ句あり

○又如行より也行よりつうて自他のとらうと事たうたよあけ
くつ河のこがう折れる例あてくおらうとれと未とあてらる

加行四股活

也行下二股活

きく。

きく。

右よかたは物を結まをとりつ河下なまをたおのつらう結まを
とりつらうと結るなり

○又同一河をさう清濁よりつて自他のとらうとれと事たうたよあけ
あけくつ河のこがう折れる例なり

加行下二股活

同活

きく。

きく。

右清濁をたおのつらう結まをとりつ河下なまを濁まは物を結まを
とりつらうと結るなり

○又二股の活句をいふとまき小自他のとらうとれと事たうたよあけ
るつなうけやまのつらう次よあけくつ河のこがう折れる例なり

加行一版活

依行下二股活

きく。

きく。

右よかたは物を結まをとりつ河下なまを他よ結まを
とりつらうと結るなり

奈行一版活

依行下二股活

ろ。

ろ。

右よかゝるおのろろゆきをりつて下なるおをゆき

奈行一版活

也行下二版活

ろ。

ろ。

右よかゝるおをゆきをりつて下なるおのろろゆき

波行一版活

佐行下二版活

ろ。

ろ。

右よかゝるおのろろゆきをりつて下なるおをゆき

ろ。

麻行一版活

也行下二版活

ろ。

ろ。

右よかゝるおをゆきをりつて下なるおのろろゆき

也行一版活

佐行下二版活

ろ。

ろ。

右よかゝるおのろろゆきをりつて下なるおをゆき

和行一版活

羅行下二版活

み。

み。

石上なるもつうつう物ささきささきつう物下なるおのつうつう物せ
らつうつう物ささき

又る紫よりみとをけつうつう物ささきささきつう物ささきささき

を奈行二版の活字の似の字身一の書れなよう佐行四版乃活

字よりつうつう物自他のつうつう物ささきささきつう物ささき

をりつう物ささきを袖を袖ささきつう物ささきつう物ささき

又なつう物ささきつう物ささきつう物ささきつう物ささき

るつう物又波行一版の活字の似の字身一の書れなよう佐行四版の

活字よりつうつう物つうつう物つうつう物つうつう物つうつう物

奈行下二版の活字の似の字身一の書れなよう佐行四

版の活字の似の字身一の書れなよう佐行四

見ゆりつう物つう物つう物つう物つう物つう物つう物

出せつう物つう物つう物つう物つう物つう物つう物

つう物つう物つう物つう物つう物つう物つう物

つう物つう物つう物つう物つう物つう物つう物

○又自他をささきつう物のつう物つう物つう物つう物つう物

つう物つう物つう物つう物つう物つう物つう物

是も加行四版の活字と同中二版の活字とささき

あじやけ。

あじやけ。

是も若くは佐行四段の活句とてかゝるのそとにせよ
なり。

ひつ。

ひつ。

是も多行四段の活句とて中二段の活句とて

志のふ。

志のふ。

甲かふ。

甲かふ。

是も波行四段の活句とて中二段の活句とてなり

さきさふ。

さきさふ。

是も波行四段の活句とて下二段の活句とてなり

たふ。

たふ。

い。

い。

是も波行四段の活句とて下二段の活句とてなり

か。

か。

あ。

あ。

い。

い。

是れも波行四段の活句とて下二段の活句とてなり

とかゝるふ。とては波行四段は活句しつゝさきさふの活句

根を後のせよとてさきさふといふはさきさふといふなり

い。

い。

こも昔小羅行下二版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

こも昔

こも昔

不な

不な

こも昔小羅行下二版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

こも昔

こも昔

あふ

あふ

あふ

あふ

こも昔小羅行四版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

こも昔小羅行四版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

あふ

あふ

こも昔也行下二版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

こも昔

こも昔

こも昔小羅行四版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

こも昔

こも昔

こも昔小羅行下二版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

こも昔

こも昔

こも昔加行四版の活字と波行四版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

こも昔

こも昔

こも昔加行四版の活字と波行四版の活字をてんてんてんてんてんてんてんてんてん

こも昔

こも昔

こも佐行四版の活字と也行下二版の活字とさう

まろ。

まろ。

こも佐行四版の活字と置行四版の活字とさう

まろ。

まろ。

こも佐行下二版の活字と波行下二版の活字とさう

まろ。

まろ。

こも波行四版の活字と也行下二版の活字とさう

八衢波行四版の活字のまろとさうとさうのりまろ

とさうを引てさうとさうのりまろとさうとさう

まろとさうとさうとさうとさうとさうとさう

まろ。

まろ。

こも波行四版の活字と佐行四版の活字とさう

まろ。

まろ。

こも波行下二版の活字と佐行四版の活字とさう

まろ。

まろ。

まろ。

まろ。

まろ。

まろ。

見ふも波行四版の活字と置行四版の活字とさう

まろ。

まろ。

こも波行中二版の活字と置行四版の活字とさう

まろ。

まろ。

こも佐行四版の活相と也行下二版の活相とるう

あふふ。

あふふ。

こも佐行四版の活相と置行四版の活相とるう

あふふ。

あふふ。

こも佐行下二版の活相と波行下二版の活相とるう

あふふ。

あふふ。

こも波行四版の活相と也行下二版の活相とて口さなり
八衢波行四版の活相のあふふとつふとつ後のあふふあふふ
とつふを引て口さことあふふと行と活とこととて口さなり
あふふとあふふとあふふとつふとあふふとあふふとあふふと

あふふ。

あふふ。

こも波行四版の活相と佐行四版の活相とるう

あふふ。

あふふ。

こも波行下二版の活相と佐行四版の活相とるう

あふふ。

あふふ。

あふふ。

あふふ。

あふふ。

あふふ。

こも波行四版の活相と置行四版の活相とるう

あふふ。

あふふ。

こも波行中二版の活相と置行四版の活相とるう

あふふ。

あふふ。

何の事もなれし風のあはれ
くはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは

とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは
とくはるもは浪のよかけ
をむねとくもて他よは

Handwritten notes at the top of the left page, including a small circular stamp.

Small handwritten notes at the bottom left of the left page.

み...まおのつ...結...なれ...自他混雜...か...
な...わ...ぬ...
こ...紫...み...お...ま...
Vertical handwritten text in the right column, enclosed in a rectangular border.

Vertical handwritten text in the left column, enclosed in a rectangular border.

